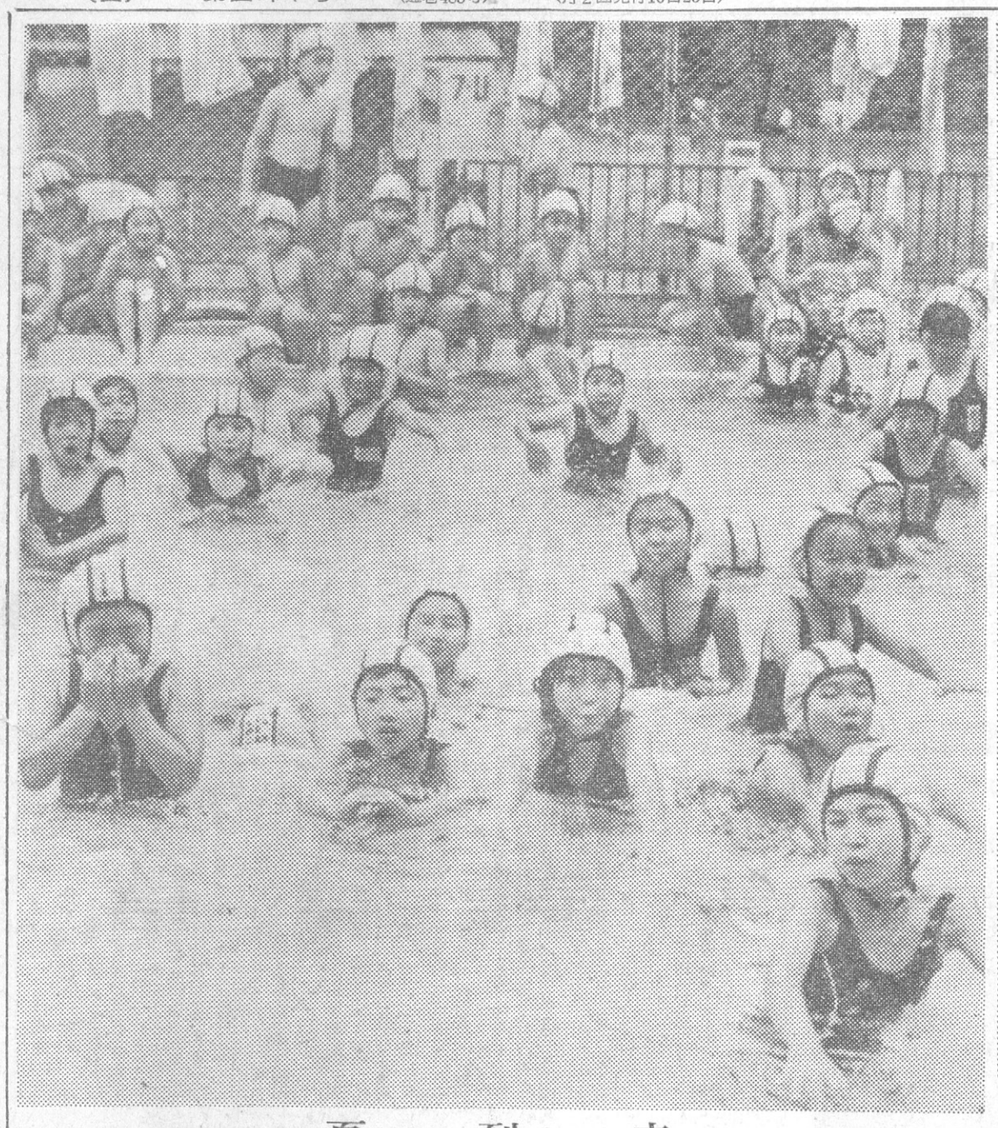
全国婦人新聞

発行所
株式会社全国婦人新聞社
本社　東京都新宿区西新宿
3−7−28宝幸西新宿ビル
電話 03 (343) 1846代
振替口座東京 172320

1部85円

ご購読料
1年 3,000円
(郵送料とも)
◎現金・切手・振替で前納

本紙は女性による平和と平等を推進します



第26回『社会を明るくする運動』に協力を

青少年の非行防止活動の推進

七月一日から三十一日までの一カ月間、法務省の主唱により第二十六回社会を明るくする運動が展開されています。

社会を明るくする運動とは、全ての国民が犯罪の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合せ、犯罪のない明るい社会を築こうという全国的な運動です。

特にこの運動の目標として「青少年の非行防止活動の推進」があげられていますが、これは最近の青少年の非行は、中学校生によるものが増加しており、家庭的には、ごく普通の家庭の少年がほとんどで、内容的にも従来の悪質凶悪なものに加え、シンナーの吸引、あるいは性の逸脱行為など、まことに憂慮する状態です。

次代を担う青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることは関係機関諸団体をはじめ、国民一人一人に課せられた責務です。

一人でも多くの少年を非行から守るためにも協力する積極的態度が必要です。

普通の家庭から激増

7・8月はシンナーなどの乱用防止強調期間です

シンナー・接着剤などの乱用とこれが誘因となった犯罪や死亡事故は、速去三年夏と秋に集中しています。この期間に乱用者の早期発見による補導（治療）など適切な措置を講じ、乱用とそれに伴う犯罪を撲滅しましょう。

◎発見方法

(1) 身体や衣類にシンナー特有の臭いがしみついていたり、衣服の胸部、袖、ズボンのポケット膝上に接着剤などついていませんか。

(2) 手の甲や脚、首などにマッチや煙草の火を押しつけたような火傷のあとはありませんか。

(3) どす黒い顔色で眼がとろんとしていたり、青白く生気のない顔色をしていませんか。

(4) 急に性格が変わり、怒りっぽくなったり、無気力、脱力感、無関心などに陥っていませんか。

(5) 食欲不振、不眠、手のふるえ、ものにおびえたり、疑い深くなったり、外出時間、その他日常生活が急に不規則になってはいませんか。

(6) 勉強部屋にとじこもったり、部屋に接着剤の空びん、空チューブ、接着剤のついたビニール袋が放置されたり、シンナーの臭いがしたりしませんか。

◎乱用青少年にはいろいろ問題がありますが、この期間に抜本的対策がのぞまれます。

総理府統計局では、物価、収入消費、貯蓄等に関する消費者意識などを分析することを目的として昭和五十年十二月と、五十一年二月の二回にわたり「消費者意識研究会」の討議にもとづき、民間機関に委託して調査をおこないました。とくに物価上昇の実感に関する事項については、指数と実感の差の大きさ、及びその要因を解明することに重点をおいて調査しその結果を発表しました。それによると実感は個人差がきわめて大きく男子よりも女子、収入では低い層ほどその実感は大きく前年よりの収入の増減によっても差があり、収入の減ったグループほど高い実感を持ち、また職業別では事務的職業より、パートタイマー、家事専業のほうが高い実感をもっていることがわかりました。

暮らし"四苦八苦"

消費者生活の意識と実態

値上がりで一番困るもの
「米、パン、めん類」つぎに「魚、肉、卵」

女子41%と、男子に比べ女子の関心度が低くなっています。

「実感」はきき方によって大きく変る。

これまでの消費者物価指数の上昇率と自分の感じと比べてどうかという質問に対しての答えは次のようになっています。

自分の感じの方が高かった	18・4%
自分の感じとほぼ合っていた	16・2%
自分の感じの方が低かった	10・3%
わからない	30・7%

「わからない」が31%を占めており、「自分の感じの方が高かったとする」が43%を占め、「ほぼ合っていた」あるいは「自分の感じの方が低かった」は26%よりいくらか多くなっています。この傾向は男女間で差はありません。ところが「消費者物価指数でみると」という質問に対しては、わからないという回答が16%に減ってしまいます。そして69%の人が、実際の物価は物価指数が示す以上に上がっていると感じています。男子に比べて、女子の方でもっと上がっていると感じている人が多くなっています(男子67%、女子71%)

年間収入階級別にみると、高収入層よりも、低収入層で、自分の感じの方が物価指数より高いと答えているが多くなっています。

自分の感じの方が高かった
18・4%
自分の感じとほぼ合っていた
24・4%

購入頻度の少ない項目の値動き

▼物価上昇の実感

実感は個人差がきわめて大きい

「一年前に比べ、物価は何%ぐらい上がっていると思うか」との質問に対し全体の19%がわからないと答え、物価上昇率についてはっきり実感をもっていない。

物価上昇率を答えたものでは

5%以下	2%				
10%ぐらい	16	17			
15%ぐらい			24		
20%ぐらい	17			14	
30%ぐらい		24			4
40%ぐらい	14				
50%〜100%	4	5			

となっており、5%以下から100%ぐらいまで幅広く分布しており個人差がきわめて大きいことが示されています。なかでも20%ぐらいとの答えが最も多く、20%ぐらい及びそれより高いとの答を合わせると約半数（47%）にのぼります。

物価上昇を強く意識するのはスーパーなどで買物するとき

「どんなときに物価が上がったと感じるかという質問に対して、第一番に「スーパーなどでの買物できまでより支払い額が多くなったとき」が最も大く（女子45・1%）で、物価上昇を感じるときの一番目、二番目の回答を合計すると「副食品が上がったとき」（57・3%）が最も多く、次いで「電気・ガス・水道代、交通費が上がったとき」40・2%、一ケ月の生活費が増えたとき」40・2%などがあげられています。結局、物価上昇を特に強く意識するのはスーパーなどの店頭であり、毎日のおかずを買うときであり、また家計に大きく響いたときになっています。

値上がりして一番困るのは主食

「何が値上がりすると困るか」という質問に対しては、「米、パン、めん類など」27・9%が最も多く、この傾向は男女、職業別、年間収入階級別にみても共通しています。値上がりすると困るものの上位は「魚、肉、卵、乳製品など」24・2%「米、めん類」27・8%「光熱費」10・2%「野菜」8・3%などです。男子では「交通費」を上位のなかにあげ、職業別では被傭者に「交通費」をあげたものが多くなっております。このように物価上昇の実感は、値上がりしては困る生活必需品の値上がりによってつくられています。

消費者物価指数について「言葉だけは知っている」人を含めるとほとんどの人（87・7%）が知っているが、「大体のつくり方ぐらいは知っている」は7・5%にすぎません。

また、物価指数の結果に関心をもっている人は46%で、男子53%

自分の感じとほぼ合っていた	24・4%
	16・2%
自分の感じの方が低かった	10・3%
	30・7%

接目分の家計に関係ないか、あるいは多数の品目より構成されていて感じがつかみにくいために実感をもっていない人の割合が多いものと考えられます。

だいたい合っている者及びそれより低いと答えている者を合わせると、家具類と電気、ガス代以外の項目ではいずれも30%を超えており、総合指数の対前年上昇率10%が実感に合ってる、あるいは実感より低いとする人15%に比べてずっと多くなっています。特に米、調味料、酒類、理髪、パーマなど、購入頻度が高く、値段のはっきりしているものでは、「だいたい合っている。」と答えている人が多い。購入頻度が高くても、値動きの激しい生鮮食料品では、実感はあってもあまり妥当ではないようです。

項目に分けると「実感」上昇率は「実態」に近ずく

一般的にいって、項目に分けてみると、指数と実感との差は総合指数でみるよりも小さくなり、このことは、項目別に質問した「実感」上昇率からも裏付けられます。

米は17%上昇に対して「10%ぐらい」及び「20%ぐらい」を合わせると51%を占めています。

肉は、19%の上昇に対し、「20%ぐらい」が37%。下着、身の回り品は、5%の上昇に対し「変わらない」及び「10%ぐらい」を合わせて36%。

増えたが思ったほどではなかった	40・6%
変わらなかった	24・8%
減った	11・4%

となっています。したがって約六割近くの世帯が程度のちがいはあれ、収入が増えたと答えている。しかし収入が「思ったより増えた」または「だいたい思った通り」と答えたのは18%にすぎず、残りの八割の世帯は収入が期待はずれと答えています。

▼貯蓄について

従来、不況時には貯蓄が減少するとされてきましたが、今回の調査では「五十年に貯蓄した額は四十九年に比べて多かったか、少なかったか、変わらなかったか」の質問に対して「多かった」15・4%「変らなかった」41%「少なかった」34・5%であり、貯蓄を増やしたという意識はうすいようです。

思ったより増えた	2・6%
だいたい思ったとおり増えた	51・4%

▼生活費増と物価上昇

四十八年末から始まった消費者物価の異常騰貴は、当然大きく生活費に影響をあえました。「一年前に比べて生活費は増えたか」の質問に対し「生活費が増えた」と答えている世帯は、五十年十一月の答えでは全体の84・1%を占め、そのうち、80%の世帯がその理由として、消費の内容は変わらないが、物価が上がったから」をあげ、この20%を超える生活費の増加が、そのまま物価上昇であると感じてできた世帯がかなり多い。

しかし「20%以上増えた」と答えた世帯の割合は五十二年二月には53・3%に低下しており、わずか三カ月間ではあるが、物価の鎮静化傾向が定着したことを反映して、生活費は相対的に増えなくなったという意識の変化がうかがえます。

一方、家計調査の結果では、消費支出の伸びは、五十年平均で四十九年に比べて名目16・8%、実質では4・5%の増加となっています。

このように主食、副食、光熱費のような基礎的支出項目の支出増加を他の費目より強く感じる傾向がみられます。

もちろん洋服・レジャー・外食など
ぎりぎり節約しても

基礎的費目に対する支出増加感が強い

「生活費が一年前より増えた」と答えた世帯について、最も増えたと思う費目を三つまで回答は、回答比率の多い順に①副食費78%②主食費62%③光熱費41%となっています（五十年十一月）。これらの費目は所得弾力性も価格弾力性も低いとされている基礎的な費目です。

家計調査によると、これらの五十年九月～十一月の前年同期と比べた伸び率は、副食費9・4%、主食費11・5%、光熱費13・3%であり、光熱費を除けば消費支出全体の伸び率12・6%を下回っており、増加率が特に大きかった費目は、魚、肉、卵、乳製品などをはじめ、主食、光熱費、教養費など、きりつめてきたもの、消費を増やすもの

「生活費が一年前より増えた」と答えた世帯について、最も増えたと思う費目を三つまで回答は、回答比率の多い順に①副食費78%②主食費62%③光熱費41%④外食費④タクシー代⑤家具、電気製品⑥理髪・パーマの下着・身の回り品などの順です。反対に食料費は、しゃ好品を除き、ほとんどきりつめの対象となっていません。

きりつめてきたもの、消費を増やすもの

消費の態度について「何をきりつめているか」の質問に対し、きりつめがはばかった費目は①洋服②レジャー関係費③外食費④タクシー代⑤家具、電気製品⑥理髪・パーマの下着・身の回り品などの順です。反対に食料費は、しゃ好品を除き、ほとんどきりつめの対象となっていません。

一方、今年は昨年に比べ貯蓄を増やすか、消費を増やすかの質問に「消費を増やす」と答えた人に「どのような費目について増やすか」を質問していますが、これに対し、消費を増やすと回答した項目は、魚、肉、卵、乳製品などをはじめ、主食、光熱費、教育、教養費など、きりつめられたけれども基礎的な緊急度が高い費目が考えられています。家具、電気製品、レジャー関係費などは選択的支出費目は特に消費を伸ばす大きな目標にされていません。このことはいわゆる「節約意識」がかなり残存することを示すものといえましょう。

▼収入について

収入も伸びたが期待したほどではなかった

五十年は四十九年と比べて、期待されたほど収入が増えたかどうかの質問に対し、

思ったより増えた	2・6%
だいたい思ったとおり増えた	51・4%
思ったほど増えなかった	24・4%

となっています。

家賃、家具類、電気器具、教育費、娯楽費については、「わからない」の答が特に多く、約四割の人が実感をもっていません。この項目は、購入頻度が少ないか、直接目分の家計に関係ないか、あるいは多数の品目より構成されていて感じがつかみにくいために実感をもっていない人の割合が多いものと考えられます。

だいたい合っている者及びそれより低いと答えている者を合わせると、家具類と電気、ガス代以外の項目ではいずれも30%を超えており、総合指数の対前年上昇率10%が実感に合ってる、あるいは実感より低いとする人15%に比べてずっと多くなっています。特に米、調味料、酒類、理髪、パーマなど、購入頻度が高く、値段のはっきりしているものでは、「だいたい合っている。」と答えている人が多い。購入頻度が高くても、値動きの激しい生鮮食料品では、実感はあってもあまり妥当ではないようです。

項目に分けると「実感」上昇率は「実態」に近ずく

一般的にいって、項目に分けてみると、指数と実感との差は総合指数でみるよりも小さくなり、このことは、項目別に質問した「実感」上昇率からも裏付けられます。

米は17%上昇に対して「10%ぐらい」及び「20%ぐらい」を合わせると51%を占めています。

肉は、19%の上昇に対し、「20%ぐらい」が37%。下着、身の回り品は、5%の上昇に対し「変わらない」及び「10%ぐらい」を合わせて36%。

増えたが思ったほどではなかった	40・6%
変わらなかった	24・8%
減った	11・4%

となっています。したがって約六割近くの世帯が程度のちがいはあれ、収入が増えたと答えている。しかし収入が「思ったより増えた」または「だいたい思った通り」と答えたのは18%にすぎず、残りの八割の世帯は収入が期待はずれと答えています。

▼貯蓄について

従来、不況時には貯蓄が減少するとされてきましたが、今回の調査では「五十年に貯蓄した額は四十九年に比べて多かったか、少なかったか、変わらなかったか」の質問に対して「多かった」15・4%「変らなかった」41%「少なかった」34・5%であり、貯蓄を増やしたという意識はうすいようです。

思ったより増えた	2・6%
だいたい思ったとおり増えた	51・4%

▼収入について

収入も伸びたが期待したほどではなかった

五十年は四十九年と比べて、期待されたほど収入が増えたかどうかの質問に対し、

思ったより増えた	2・6%
だいたい思ったとおり増えた	51・4%
思ったほど増えなかった	24・4%

となっています。

家賃、家具類、電気器具、教育費、娯楽費については、「わからない」の答が特に多く、約四割の人が実感をもっていません。この項目は、購入頻度が少ないか、直接目分の家計に関係ないか、あるいは多数の品目より構成されていて感じがつかみにくいために実感をもっていない人の割合が多いものと考えられます。

だいたい合っている者及びそれより低いと答えている者を合わせると、家具類と電気、ガス代以外の項目ではいずれも30%を超えており、総合指数の対前年上昇率10%が実感に合ってる、あるいは実感より低いとする人15%に比べてずっと多くなっています。特に米、調味料、酒類、理髪、パーマなど、購入頻度が高く、値段のはっきりしているものでは、「だいたい合っている。」と答えている人が多い。購入頻度が高くても、値動きの激しい生鮮食料品では、実感はあってもあまり妥当ではないようです。

項目に分けると「実感」上昇率は「実態」に近ずく

一般的にいって、項目に分けてみると、指数と実感との差は総合指数でみるよりも小さくなり、このことは、項目別に質問した「実感」上昇率からも裏付けられます。

米は17%上昇に対して「10%ぐらい」及び「20%ぐらい」を合わせると51%を占めています。

肉は、19%の上昇に対し、「20%ぐらい」が37%。下着、身の回り品は、5%の上昇に対し「変わらない」及び「10%ぐらい」を合わせて36%。

増えたが思ったほどではなかった	40・6%
変わらなかった	24・8%
減った	11・4%

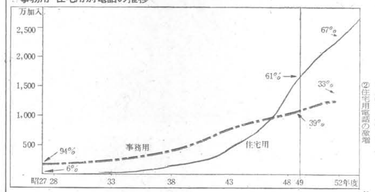
となっています。したがって約六割近くの世帯が程度のちがいはあれ、収入が増えたと答えている。しかし収入が「思ったより増えた」または「だいたい思った通り」と答えたのは18%にすぎず、残りの八割の世帯は収入が期待はずれと答えています。

▼貯蓄について

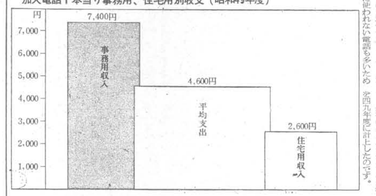
従来、不況時には貯蓄が減少するとされてきましたが、今回の調査では「五十年に貯蓄した額は四十九年に比べて多かったか、少なかったか、変わらなかったか」の質問に対して「多かった」15・4%「変らなかった」41%「少なかった」34・5%であり、貯蓄を増やしたという意識はうすいようです。

23年間「7円据置き」の経営努力も限界に

事務用・住宅用別電話の推移



加入電話1本当り事務用、住宅用別収支（昭和49年度）



〝第二の国鉄〟にしたくない
〝モシモシ〟は訴える
いまや四人に一台の加入率

電電公社の事業経営にとって、基本料と通話料金を柱とする収入の伸びは、加入者の増加と、通話回数の増加にかかっています。

ところが、ここ数年来、加入者の増加率は、年々鈍化の傾向をたどっており、通話回数の増加率も、ここ数年来、ほぼ横ばいの状態です。

そこで電電公社では、電話の普及率が、

①昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

②電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

③電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

④電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑤電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑥電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑦電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑧電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑨電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑩電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑪電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑫電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑬電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑭電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑮電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑯電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑰電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑱電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑲電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

⑳電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉑電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉒電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉓電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉔電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉕電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉖電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉗電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉘電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉙電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉚電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉛電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉜電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉝電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉞電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㉟電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊱電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊲電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊳電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊴電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊵電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊶電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊷電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊸電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊹電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊺電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊻電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊼電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊽電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊾電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

㊿電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(51)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(52)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(53)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(54)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(55)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(56)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(57)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(58)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(59)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(60)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(61)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(62)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(63)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(64)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(65)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(66)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(67)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(68)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(69)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(70)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(71)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(72)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(73)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(74)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(75)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(76)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(77)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(78)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(79)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(80)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(81)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(82)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(83)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(84)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(85)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(86)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(87)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(88)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(89)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(90)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(91)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(92)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(93)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(94)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(95)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(96)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(97)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(98)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(99)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(100)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(101)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(102)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(103)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(104)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(105)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(106)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(107)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(108)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(109)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(110)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(111)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(112)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(113)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(114)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(115)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(116)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(117)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(118)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(119)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(120)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(121)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(122)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(123)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(124)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(125)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(126)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(127)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(128)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(129)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(130)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(131)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(132)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(133)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(134)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(135)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(136)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(137)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(138)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(139)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(140)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(141)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(142)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(143)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(144)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(145)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(146)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(147)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(148)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(149)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(150)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(151)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(152)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(153)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(154)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(155)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(156)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(157)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(158)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(159)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(160)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(161)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(162)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(163)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(164)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(165)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(166)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(167)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(168)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(169)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(170)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(171)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(172)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(173)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(174)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(175)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(176)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(177)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(178)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(179)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(180)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(181)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(182)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(183)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(184)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(185)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(186)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(187)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(188)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(189)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(190)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(191)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(192)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(193)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(194)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(195)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(196)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(197)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(198)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(199)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(200)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(201)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(202)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(203)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(204)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(205)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(206)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(207)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(208)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(209)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(210)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(211)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(212)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(213)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(214)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(215)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(216)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(217)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(218)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(219)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(220)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(221)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(222)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(223)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(224)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(225)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(226)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(227)電話の設定

昭和二十七年八月公社発足時の約一割、昭和四十八年三月末の二十三・〇%から、ほぼ二倍の四六・三%に達したこと

(228)電話の設定

昭和二

正量は76%

計量モニター報告

検印のない「はかり」も使用

× × ×　× × ×

埼玉県新座市消費生活係ではこのほど昭和50年度計量モニターの集計をまとめました。それによると不足は野菜・魚貝類・食肉など八・二%、超過はつけもの・めん類・肉製品などとなっています。

同市の調査は市内に在住する二十歳以上の主婦を対象にモニターを募集し、日常の買物の中で買われた商品を二ヵ月間計量し、調査の結果を計量日誌に記帳し、

◉面前計量商品（はかり買い商品）……店先で計ってもらい購入した商品。

◉正味量表記商品（密封された商品）……あらかじめ計量された容器に詰め込み、中味を容易に増減できないよう密封され内容量を表記した商品。

別に調査したものです。

〈意見と要望〉

▼検印のないはかりを使用している店がだいぶありました。

▼はかりの針が定まらないうちに商品をおろすので正確な数字が読みとれない。

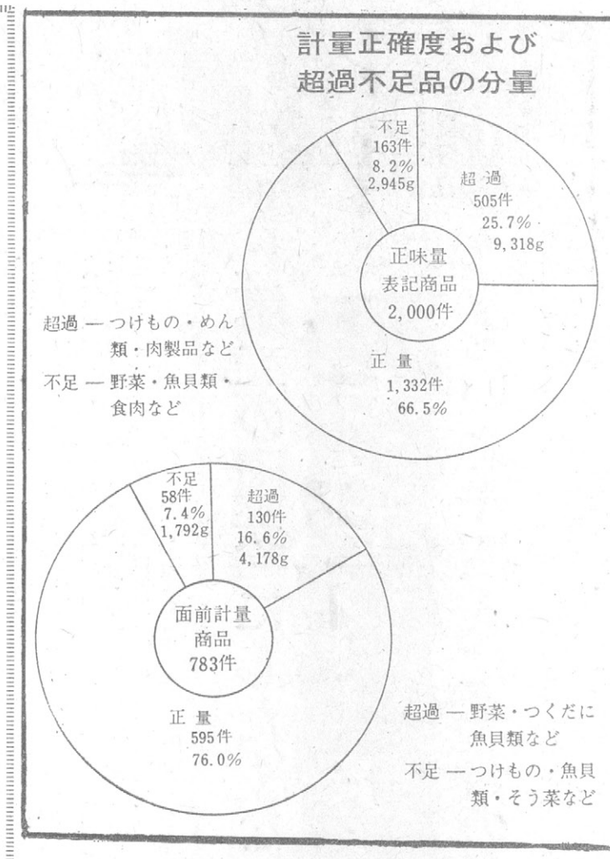
▼商店に対して、風袋の目方をもっと重要視していただきたい。

▼食品を扱う店なのですから品物にはもっと気を使ってほしい。

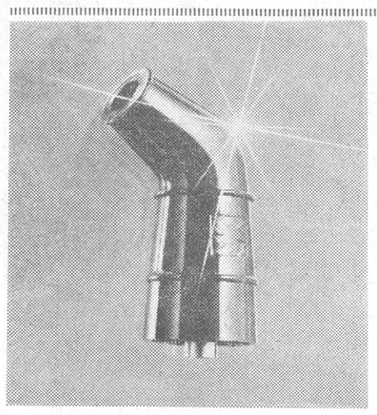
▼品物を計量する前に袋・経木などは一度計ってもらいたい。

50 合格 埼玉県

検定合格シール
合格シールは目につきやすい場所に貼られています。



新製品紹介



スパークジャンボ

排気ガスの〝浄化に一役〟

——燃費の節減も

空気汚染の要因である排気ガスの浄化と燃費の節減を目的として研究開発をすすめていた㈱サントレーディング（本社・東京千代田区・山下園雄社長）では、新らしい点火装置「スパークジャンボ」を製品化し発売をはじめ、公害防止と、資源節約として注目されています。

◇　◇　◇

従来の点火装置に求められていた①始動性の向上②確実な着火による失火防止③高速時におけるミスファイア防止等の要求に応える製品として開発したCDI点火装置で、容量放電により点火プラグに立上りの早い、またどのような着火条件のもとでも持続性の長い強力な点火エネルギーを与えて着火ミスを防ぎ、燃焼効率を向上させ、近年のモータリゼーションの悩みである公害問題と燃費節減を目的としています。

1 排気ガスの浄化
2 パワーアップ
3 燃費節減
4 始動一発

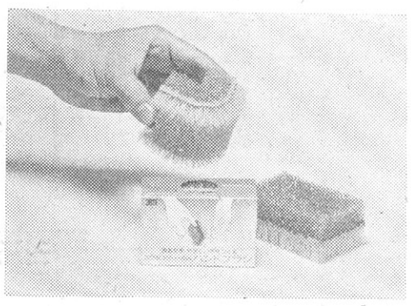
従来のバッテリー方式（誘導電圧放電）の弱点である、始動時の電圧の不足、迅速時の燃焼条件の不整、高速環境での吹消し現象を根本的に改善し、燃焼効率を向上させることにより性能のアップをはかりました。

取り付け方法も手軽で、ディストリビューターのキャップに取付けるもので誰にでも簡単に装着できます。

（八六二）六四六一～三

ハンドブラシ

指のつけ根もよく洗えるスポンジ付き



住友スリーエムでは、ツメの奥深く入ったゴミや指紋についた細かい汚れを落すスポンジ付きハンドブラシの新製品、スクラブティーム印ハンドブラシをこのほど発売開始しました。

このハンドブラシは病院などでの洗浄用として開発されたもので、ポリプロピレン製のブラシとポリウレタンスポンジとが組み合されています。サイズは手の中に入る使い易い大きさで、色は清潔な感じのするブルーです。

従来のツメブラシは、硬質の樹脂に毛が四〇本程度束になって定間隔に植えられているため、東と束の間に指が入ってしまい洗いにくい点がありました。

これに対して、極めて柔軟性に富んだゴムに細かくて柔らかい毛が密植した状態で、しかも不均一に植えられているため、ツメの中や指の先についたどろんこ汚れや絵の具、油なども石けんを含ませてブラッシングすることによりきれいに落せます。毛がやわらかいため幼児のやわらかい皮膚をいためることがありません。

スポンジ部はポリウレタンフォーム状（穴のあいた円球の結合状態）のため、石けんの泡立ちが良いと同時に水切れも抜群です。

また、真中がゴムのため折りまげが自由で、従来の固い樹脂製のハンドブラシでは洗いにくかった指の付け根もきれいに洗えます。

価格は一ケ三五〇円で全国のデパート、スーパー、化粧品店、薬局などで販売します。

〈特　長〉

1、細かくて柔らかい毛が不均一に植え込まれているため、指の中や指紋についた汚れをきれいに落すことができます。

2、毛が柔らかいため皮膚をいためることがありません。

3、ゴムは柔軟性に富んでいるため、指の付け根などは折り曲げてブラッシングすることができます。

〈お問い合わせは〉住友スリーエム株式会社＝東京都世田谷区玉川台二―三三―一＝電話（〇三）七〇九―八一一一＝資本金五一億八、四〇〇万円＝社長田辺賢三

美容相談

長時間の紫外線はタブー

サンオイルをまんべんなく

海水浴でお肌を守るには！

日やけしたあと色が黒くなったり、しみ、そばかすが濃くなって目立つのは、紫外線にあたったためにメラニン色素がふえるからです。紫外線照射量が多い地域では色黒の人が多いといわれています。また、長時間紫外線にあたると、肌が乾燥し、角質が厚くなって、肌のつやもなくなりますので十分注意しましょう。

午前十一時ノ午後二時頃までが日光がいちばん強いとき。初めてやく日は、この時間はパラソルの下や日かげなどにいる方が無難です。美しくやくにはま時間をかけ、除々にやくことがたいせつです。

海や山の紫外線は想像以上に強く、まともにあたると炎症をおこしかねません。サンオイルをまんべんなくぬり、肌をまもりながらやくのが健康的な小麦色をつくる秘訣です。サンオイルは、従来のオイルタイプのほかにノズルを押すと、ふんわりした泡のように出てくるフォームタイプのもの、化粧水のようにさらっとしたローションタイプのもの、パールの輝きが楽しめるゼリー状タイプのものといろいろありますから、好みのものを選ぶようにしましょう。遊びに夢中になると、つい忘れがちですが時々つけかえることもたいせつです。泳いだあとや、汗をかいたあとは水分を軽くふきとってからつけると、ムラやけせず効果的です。

泳ぎにいきたいのですが、ひたいのうすいしみが、日やけで濃くならないかと気にかかります。どうようにしたらよいでしょうか。

泳いだあとは、からだについているサンオイルやサンスクリーン塩分などは、ボディ専用のクレンジングで洗い流します。ほてっているときは、顔と同じように、カーマインローションで冷やしたあとサマーローションをつけてしっとりさせておきます。

また夏は皮脂線の働きと汗線の働きが活発になり、肌は脂っぽい傾向がしめします。とくに顔の中央部は皮脂線が発達していますので、額や鼻の頭、小鼻のまわりがテカテカと光ったり、その上、汗の分泌がさかんになるため化粧くずれしやすくなります。

化粧くずれをそのままにしておくと、その部分の肌に紫外線があたるのでムラやけのもとになります。十分注意しましょう。

化粧くずれしてきたら……

(1) 汗がでている場合は、まず汗をティッシュペーパーなどでおさえるようにして、よくふきとってから化粧をなおします。

(2) ビューティケイク類は重ねづけできるので化粧なおしに便利です。とくにくずれやすい鼻のまわりや額などは、ていねいにつけできればプレスパウダーでさらにおさえておきます。

(3) 外出先での化粧なおし用に水にぬらしたスポンジを携行すると便利です。帰ったら十分洗ってよく乾かしておきます。

(4) メイクアップ前の基礎化粧をきちんとしましょう。とくにアストリンゼントローションは、コットンにたっぷり含ませ、肌が冷たくなるまで十分パッティングします。

（資生堂）

夏のくらし

自分にあった運動を

〝夏のスポーツに警告〟

歩く、走る、体操をするなど運動を全く行わなかったらどうなるでしょうか。今すぐとは限りませんが、いずれ確実に健康を害し、疾病を招きます。これを回避するためには、当然なにかの身体活動を行わなければなりません。しかし我々は一つの運動、例えば走ることを全身運動になるというように思いがちですが、どんなスポーツでも、人体中のすべての筋肉を全く平等に使うということはありません。必ず偏りがあり、それが臓器の組織の形態的または機能的なアンバランスを生じます。

健康増進のための効果的で安全な運動処方は個人によって全く千差万別です。

スポーツを実施しながら、体力医学的検査所見や、自覚的症状の変化をみることで、試行錯誤的に運動処方を修正しながら行うことによってしか達成できないと言えます。それは単に他人の真似をしてはいけないことを戒めているだけでなく、同一人であっても、運動経験の積み上げや加令に伴う変化によっても、変えられて行くべきものだということを示唆しています。自分の健康は自分だけしか作ることはできないということです。自分を冷静に見つめ、身体諸条件の変化を適確に判断し、機敏な行動によって対処できる力を養うことが健康保持の前提です。

スポーツ科学に関する多くの情報は真実には違いありませんが、ある一面だけしかとらえていないものが大部分ですから、それを活用するためには、その情報が如何なる目的、方法で行われた研究によってもたらされたかを冷静に吟味したうえでなされなければなりません。

マラソンをした直後の心臓発作による死亡、こんないたましい事故がいくつか報道されました。

運動不足による新陳代謝の低下多様化していく社会生活による精神ストレスの増大による自律神経、内分泌系混乱が重なりさらに環境汚染という悪条件でのトリプルパンチが事故や、老化につながります。夏に向かってスポーツも盛んになりますが、自分の体にあった スポーツを選びましょう。

ミニ情報

（東京・千代田区）

◉夏休みこども会

夏休みこども会をつぎのように開きます。

いろいろな「おみせ」がでます。参加するお友達のために、おみやげも用意してあります。

時間は、いずれの会場も午前十時から、雨天、強風、光化学スモッグ注意報発令の場合は延期します。

七月二十一日（水）＝富士見出張所ピロティー【堀留北（児）、飯田橋町会合同】二十二日（木）＝北の丸公園早苗饗親苑【愛土神社、竹平地区合同】二十三日（金）＝佐久間小学校講堂【佐久間公園地市】二十六日（月）＝東郷公園【二十七日（火）＝竜閑（児）二十八日（水）＝小川小学校講堂【錦町（児）地市】二十九日（木）＝平河町（児）【心法寺地区と合同】三十日（金）神田公園

八月二日（月）＝岩本町二丁目（児）三日（火）＝淡路公園【四日（水）＝西神田公園【神三地区と合同】五日（木）＝芳林公園

大正海上火災 代理店

皆さまの保険コンサルタント 大正海上火災の代理店のしるしです。

ドライバーの責任にこたえます
自家用自動車保険
再建築価額を全額補償
価額協定保険
（価額協定保険特約付住宅総合保険）
いまの収入をそのまま補償
所得補償保険

きょうを支え あすを築く
大正海上火災
本店 〒104 東京都中央区京橋1-5 ☎03(561)9111(大代)

鉄瓶と耐候性鋼

鉄瓶の真黒な肌は実は黒サビ。サビがそれ自身膜となってサビの進行を防いでいるわけですが、同じ原理から生まれたのが耐候性鋼。サビでお化粧したサビに減法強いこの鉄、建築、橋梁、車両に使われています。

新日本製鐵

おいしさが長続きする

ガムは生活のリズム

ガムはロッテ

●ガムをかみおわったら紙に包んでくずかごへおすて下さい。

化粧品、正しく保管なさってますか？

●極端な温度差のあるところは避けましょう。たとえば、ストーブのそば、窓際などは好ましくない条件なのです。また、残り少なくなったものを新しいものに移していっぱいにすることもやめましょう。

●直射日光を避けましょう。化粧品は直射日光をきらいます。陽のあたる鏡台の上に並べるようなことは避けましょう。

●固型白粉の上にセロファンをのせていますか。パフやブラシなどはいつも清潔に。セロファンがないと、白粉に皮脂やファウンデイションの油がつき、表面が硬くなりやすく「とれ」「つき」が悪くなることがあります。

●赤ちゃんや子どもの手の届かない場所におきましょう。化粧品のほとんどは体内に入っても毒性の心配のないことが確認されてはいますが、もし誤って飲んだり食べたりしたときは、水または牛乳などを飲ませて内容物をうすめてやるのもよい方法といえましょう。

※化粧品を正しく使っていただくためのパンフレット「こんなことあんなこと」をご希望の方は資生堂広報室消費者課までご連絡ください。

資生堂
〒104 東京都中央区銀座7-5-5 TEL(03)572-5111